

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『精神神経疾患を対象とした撮像済み MRI データと既存臨床資料との再対比』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2005年4月1日より2028年3月1日までの間に、診療目的で当センター病院でMRIの検査を受けた方

【研究期間】 研究実施許可受領後から2028年3月31日まで

【研究責任者】 病院 放射線診療部 佐藤典子

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

MRIは人体の解剖や病態を詳しく調べることができます。最近のMRIをはじめとする非侵襲的な脳画像検査のめざましい発展は、撮像技術や画像解析技術の進歩と相まって、脳神経疾患における病態解明や診断に貢献しています。例えばMRI画像をコンピュータにより自動的に灰白質、白質、脳脊髄液成分に分割して統計学的に画像を解析する研究では、視覚的評価では検出できない脳灰白質や白質の容量減少と精神神経疾患の関連が次々と明らかになってきています。現在当センター病院で施行されるすべてのMRI画像は、放射線診断専門医が報告書を作成していますが、MRI画像の評価は視覚的評価に基づいています。しかしそれらは個々の症例における評価であり、もし複数の症例で再検討したり、また画像統計解析を行えば、より新しい知見を見出すことが期待できます。私達は精神神経疾患の診断能の向上や病態解明に貢献することを目指し、研究実施許可受領後より2028年3月1日までの間に「精神神経疾患を対象とした撮像済みMRIデータと既存臨床資料との再対比」の研究を行います。また近年の画像研究では、小規模あるいは単施設研究では時に結果が一貫しないことがあり、多施設共同研究による大規模解析の重要性が提唱されています。精神神経疾患研究をより信頼性の高いものにするため、本研究ではロンドン大学の行う国際的多施設メタ解析に参加いたします。これらの研究に使用される診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、個人情報が外部に漏れることは一切ありません。この研究による成果は学会発表や論文など学術的な場のみで発表いたしますが、患者様の個人情報が公表されることはありません。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料: MRI 画像データ

情報等: MRI 以外の画像検査、診療録(年齢、性別、発症年齢、罹病期間、診断名、神経所見や心理検

査等の結果)

【共同研究機関】

なし

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

なし

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 放射線診療部 氏名 佐藤典子

電話番号 042-341-2712（内線）3050

e-mail: snoriko@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml\_rinrijimu@ncnp.go.jp